

一般社団法人日本歯科専門医機構
令和6年度第8回理事会 議事録

1 開催日時 令和7年3月7日（金） 14時00分～15時00分

2 開催場所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール5C

3 出席者（敬称略）

(1) 理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略、順不同）

理事現在数 15名（定足数8名）

出席理事数 13名

出席者	会場参加	今井 裕、秋山仁志、宮脇卓也、古郷幹彦 木本茂成、金田 隆、窪木拓男、宮脇正和
	WEB参加	藤田一雄、鳥山佳則、砂田勝久、村上伸也 松村英雄

欠席者 沼部幸博、豊田郁子

(2) 監事現在数ならびに出席監事数

監事現在数 2名

出席監事数 1名

出席者	会場参加	横山敏秀
欠席者		永井裕之

(3) オブザーバー

出席者	会場参加	丸山高人 顧問弁護士 藤井一維 専門医制度整備委員会委員長 尾崎哲則 共通研修企画実施委員会委員長
	WEB参加	中園健一 厚生労働省医政局歯科保健課課長補佐 宮崎 隆 専門医申請学会評価認定委員会委員長 飯田征二 IT広報委員会委員長

議長は、定款31条第1項により理事長が務める旨報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。開会に先立ち、本日の理事会には、丸山高人顧問弁護士、藤井一維専門医制度整備委員会委員長、尾崎哲則共通研修企画実施委員会委員長、厚生労働省医政局歯科保健課から中園課長補佐、宮崎隆専門医申請学会評価認定委員会委員長、飯田征二IT広報委員会委員長がオブザーバーで出席す

る旨が報告された。

4 開会の辞

藤田副理事長が開会を宣し開会した。

5 挨拶

今井理事長より、理事会を始めるにあたり挨拶があった。

次に、厚生労働省医政局歯科保健課、中園課長補佐より挨拶があった。

6 令和6年度第7回理事会議事録（案）の確認

秋山理事より、令和6年度第7回理事会議事録（案）について説明があり、基本的に了解が得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

7 報告

(1) 庶務報告

秋山理事より、令和7年12月12日以降に開催した会議等について報告があった。

(2) 会計報告

秋山理事より、令和6年4月1日から令和7年2月28日までの一般会計ならびに特別会計の会計収支計算書について報告があった。

(3) 委員会報告

秋山理事より、共通研修評価認定委員会における各学会からの申請状況ならびに認定状況について報告された。また、専門医申請学会評価認定委員会の開催内容等について報告があり、5つの専門領域の制度審査ならびに8つの専門領域の運用審査が実施されたことが報告された。

(4) 新たな専門領域に関する協議の進捗状況

秋山理事より、インプラント歯科専門医（仮称）については、規則・細則（案）について協議を実施し、更なる検討・修正等が必要な箇所について引き続き、協議を実施することが報告された。また、研修施設の選定にあたって、施設へのアンケート調査の途中経過等が報告され、引き続き、調査結果に基づく研修施設の候補について整理することが報告された。

総合歯科専門医（仮称）については、基幹研修施設と連携研修施設の関係を明確化し、それぞれの条件を整理していくことで合意された旨の報告がされた。また、具体的な研修施設の選定について協議を実施したことが報告された。

(5) 専門医の認定・更新に係る補足説明等の案内

秋山理事より、整備指針における「歯科専門医の認定・更新」に関する補足説明が完成し、社

員学会あてに連絡したことが報告された。

(6) 令和6年度厚生労働省委託事業

秋山理事より、令和6年度厚生労働省委託事業について、本機構が落札した旨の報告があった。
また、本日の審議事項において当該事業における臨時委員会の設立等について審議いただく予定であることが説明された。

(7) 新聞報道に対する対応

秋山理事より、2月5日付で日本歯科新聞社に掲載記事に対する抗議文を提出し、当該新聞社から回答があったことが報告された。

(8) 令和6年度日本歯科専門医機構主催共通研修

秋山理事より、令和6年度機構主催の共通研修の開催状況について報告があり、3,043名の受講申込があったことが説明された。

(9) 歯周病専門医打合せ会について

秋山理事より、令和7年3月13日、14時から日本歯周病学会ならびに日本臨床歯周病学会との歯周病専門医制度に関する打合せ会を予定していることが報告された。

(10) 日本歯科衛生士会との懇談

秋山理事より、令和7年1月10日、14時から日本歯科衛生士会と「日本歯科衛生学会連合（仮称）」の創設に向けた諸準備について意見交換を実施した旨の報告があった。

(11) 広報活動について

秋山理事より、広報活動に係る漫画作成の進捗状況について報告があり、専門医と開業医に関する補足ページとしてコラムを漫画家から提案いただき、現在、執行部で確認中であることが説明された。

(12) 認定証について

秋山理事より、認定証に関して2019年度、2020年度分については、既に、印刷、発送済みとなっており、2021年度から2023年度分については、準備が整い次第、印刷、発送する予定であることが報告された。

(13) 令和6年度歯科専門医制度概報について

秋山理事より、令和6年度歯科専門医制度概報について、掲載項目について各学会に依頼し、回答をいただいていることが報告された。

(14) その他

鳥山副理事長より、会計報告の収支計算書において、歳入の部の共通研修受講料の増加について質問があり、今井理事長より、今年度はこれまでに共通研修を受講されていない先生方へのレスキューのために過去の共通研修を再度開催したことによる受講料が増加したことが説明された。

宮脇正和理事より、令和6年度歯科専門医制度概報の発行について、歯科を知らない方に説明ができて助かるといったご意見があった。

8 審議事項

(1) 第1号議案 令和6年度制度審査・運用審査

今井理事長、宮崎専門医申請学会評価認定委員会委員長から制度審査ならびに運用審査の状況について説明があった。制度審査にあたっては、既存の5学会が新しい制度に整合していないところがあり、学会代表者とヒアリングを行い、詳細な今後の改善事項の進め方等について協議を実施し、今後、ロードマップを作成のうえ随時、報告を行うことを前提に承認した旨の説明がされた。また、運用審査にあたっては、細かな指摘事項が幾つかあり、訂正した資料が提出されたこと、また、直ぐに修正不能な項目については可及的速やかに修正することを条件に、8つの専門領域については適正として承認した旨の説明がされた。

これを受けて審議のうえ承認された。

(2) 第2号議案 令和7年度事業計画（案）

第3号議案 令和7年度予算（案）

今井理事長より、令和7年度事業計画について説明があり、昨年度に記載していた漫画作成に関する「歯科専門医の周知に関する活動」について今年度は除外したことが説明された。また、令和7年度の行動目標として、歯科専門医制度の更なる周知、歯科への理解を高めるための活動等について説明がされた。

次に、秋山理事から令和7年度予算として、歳入の部、歳出の部について説明がされた。

これを受けて第2号議案ならびに第3号議案を一括審議のうえ承認された。

(3) 第4号議案 厚生労働省委託事業に関する臨時委員会の設立

第5号議案 臨時委員会の委員選任に関する執行部一任について

今井理事長より令和6年度厚生労働省委託事業が落札できたことにより、当該事業に関する臨時委員会を設立したい旨の説明がされた。また、臨時委員会の委員選任については執行部に一任していただきたいとの説明がされた。

これを受けて第4号議案ならびに第5号議案を一括審議のうえ承認された。

9 協議事項

(1) 基金の取扱いについて

秋山理事より「日本歯科専門医機構における基金に関する規程（案）」について説明がされた。また、今井理事長より、事業運営において基金の目的を明確にしておくべきとのご意見もあり、当該規程（案）を作成したことが説明された。理事の先生方からもご意見等があれば事務局に

申し出ていただくよう依頼がされた。なお、当該規程（案）については、最終的に総務委員会で検討いただく予定であることが説明された。

(2) 歯科専門医「共通研修」要項の見直しについて

秋山理事より、前回理事会で議決された共通研修項目の①医療倫理、②患者・医療者関係の構築及び⑤医療関連法規・医療経済の各1単位（合計3単位）は本機構主催の共通研修の受講が必修となったことに対し、既に共通研修単位を取得した者に不利益が生じないよう周知期間を設け2029年4月1日から施行する旨の報告があった。

また、尾崎共通研修企画実施委員会委員長より、当該3つの研修項目については、各学会が主催する共通研修の開催頻度が低いため、共通研修内容の質の担保ならびに標準化のため本機構が主催する共通研修を受講いただきたい旨の説明がされた。

(3) 令和7年度の活動について

秋山理事より、令和7年度事業計画ならびに行動目標を基に、今後の活動についてご意見等があれば、別途、いただきたい旨の説明がされたが、特に意見は出されなかった。

(4) 令和7年度理事会（定例）について

秋山理事より、令和7年度の定例理事会の開催日等については、別途、候補日を挙げたうえで、先生方のご出欠状況を確認する予定であることが説明された。

(5) その他

木本理事より、共通研修の受講について、未履修者に対して救済処置のための追加開催を行ってきているが、研修を受けやすくするという点からオンデマンド化も検討いただきたいとの提案がされた。今井理事長より、執行部による実務者会議でも同様の意見が出ており、今後、検討していきたい旨の回答があった。

古郷理事より、受講者が現在、どれだけの単位を取得しているかについて、本人に周知することとはできないかとのご意見に対し、今井理事長より各学会が主催した共通研修については、本機構では把握できていないので、難しいのではないかと回答がされた。

10 閉会の辞

鳥山副理事長から、議題の審議等が終了した旨が宣され、閉会した。

令和7年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 (印)

監事 横山 敏秀 (印)